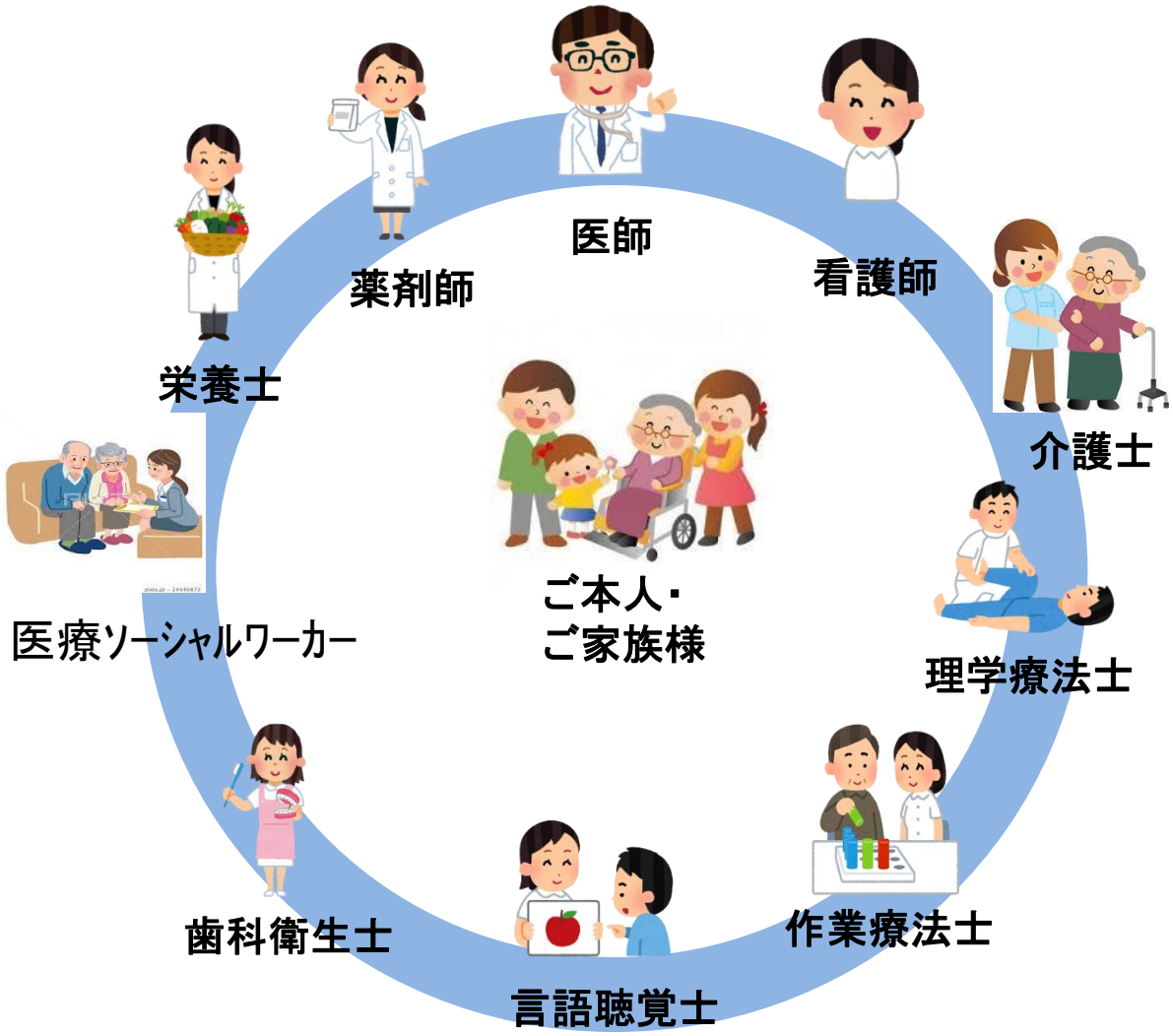
ようこそ！
回復期リハビリテーション病棟へ

チーム医療で日常生活への復帰を援助します

手足の動きを取り戻す練習だけでなく
残された機能を最大限に生かすリハビリを行います。
日常生活動作能力を高め、寝たきり予防・家庭復帰を目指します



公立八鹿病院　回復期リハビリテーション病棟　２０１７年　９月　改訂

病棟理念

●患者様の自己決定を支援し退院後のQOL（生活の質）向上にむけた
リハビリ・看護・介護を実践します。

リハビリテーションの基本方針

●生活向上リハビリ
リハビリは訓練室を利用せず、病棟内の生活空間を利用します
病棟での日常生活そのものがリハビリです

●リハビリにおける基本的役割
リハビリスタッフ　：「できないことを、できるように」
看護・介護：「できることを、いつもできるように」

●一人一人の生活に合わせた「リハビリ・ケア計画」
その人に合わせて日常生活動作を相談し、職員全員で援助します

●リハビリは３６５日実践
土曜・日曜・祝日も休まず、リハビリを行います

各職種の役割

●医師　　：疾患の管理・治療とともに、リハビリ方針を決定します

●看護師：日々の病状を把握し、健康上の管理・指導を行います

●介護士：患者様の状態に合わせた身の回り動作の援助を行います

●理学療法士：起き上がる・立つ・歩く等の基本的な動作能力を高めます

●作業療法士：食事や更衣等の身辺動作や家事等、生活に即した能力を
高めます

●言語聴覚士：コミュニケーションや飲み込みの練習を実施します

●医療ソーシャルワーカー：退院に向けた社会資源の効果的な活用や、
関係機関との連携を 行います

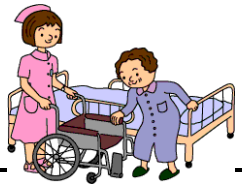
●薬剤師：医師の処方により薬を調剤し、患者様に説明します

●栄養士：栄養管理の面から回復をサポートし、嗜好に合わせたメニューを
考案します

●歯科衛生士：病気予防や歯の手入れ、食生活のアドバイスを行います

日常生活すべてがリハビリテーション！

6:30頃 起床

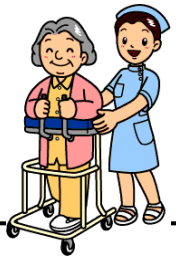


食事もベッドから離れ、ホールで椅子に座って行い、生活にメリハリをつけます。

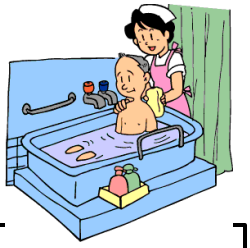
起床後の身だしなみや毎食後の歯磨きも練習します。

8:00　朝食

10:00　お茶



移動はできるだけ車椅子を使わず、歩行補助具を使用し、介助で歩行します。
食事やお茶の時間もホールで過ごします。
歩行が自立している方も、万歩計を使用して運動量の自己管理を行い、活動性を高めます。



入浴は週2回行います。
状態に合わせて家庭浴槽を使用し、入浴練習を行います。

12:00　昼食

15:00　お茶

排泄はなるべくトイレを使用します。
身体の状態によってはポータブルトイレや尿器、オムツの使用も検討します。

リハスタッフによるリハビリは、この日常生活の予定に沿って、必要な時間帯に実施します。

18:00　夕食

21:00　消灯

入院から退院までの流れ

入　院

医師の診察と説明を受け、入院当日よりリハビリテーションが始まります

評価・合同カンファレンス

動作能力・リハビリ状況を確認し、訓練計画や目標を設定します
本人様・ご家族様にリハビリテーション総合実施計画書を説明し、
目標を統一します
訓練と並行して退院支援もすすめていきます

訓練・評価を繰り返します

リハビリの継続

能力の変化に応じてリハビリ・ケア計画を変更し
生活場面でできることを増やしていきます

退院準備

外出外泊練習・自宅訪問（住宅改修相談）・介護指導などを行います
介護保険申請や身体障害者手帳申請など、社会資源の紹介も行います

退　院

かかりつけ医やケアマネジャー、各サービス事業所への情報提供を行い
スムーズな自宅生活への移行を図ります

ご自宅の写真と見取り図のお願い

ご自宅の生活環境に近い状態でリハビリを行うため、また、住宅改修を相談させていただくときの情報として、ご自宅の写真と見取り図をお願いしています。

【注意】

住宅改修を検討されていましたら、まずは担当のスタッフにご相談下さい

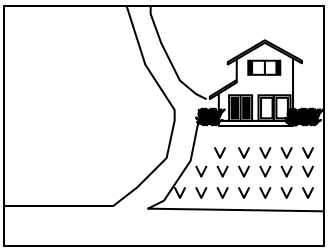
【写真】

①患者様がよく利用される場所を、全体像がわかるように撮影して下さい
②写真は現像・プリントした状態で、裏に撮影場所の明記をお願いします
③メモリーカードやフラッシュメモリ等での提出でもかまいません

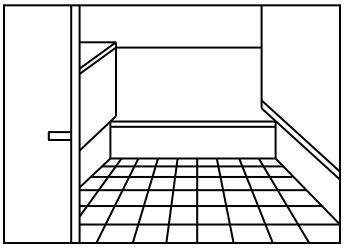
例）

・家屋全体

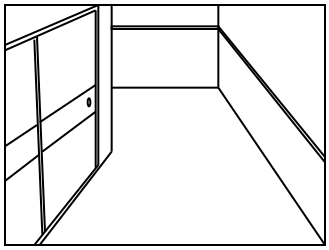
・道路から自宅



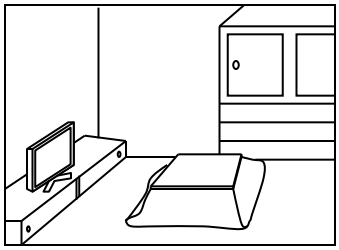
・玄関



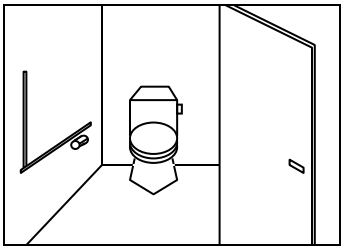
・廊下



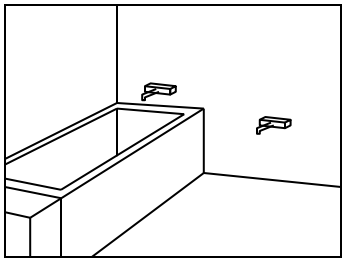
・居室



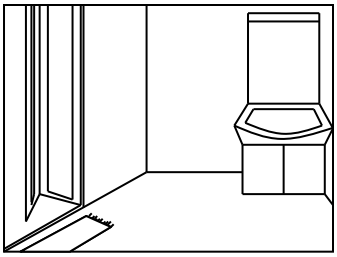
・トイレ



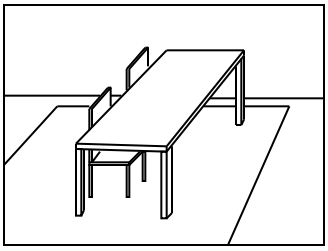
・浴室



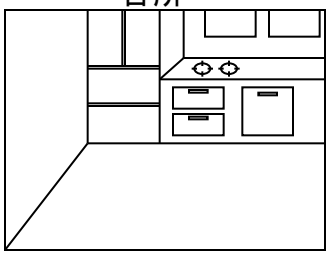
・洗面所（脱衣所）



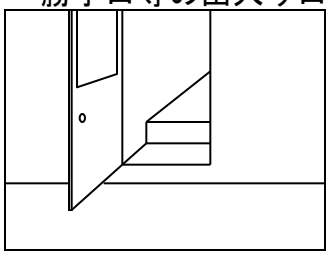
・食卓



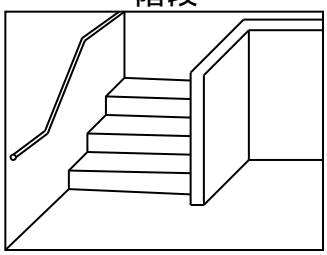
・台所



・勝手口等の出入り口

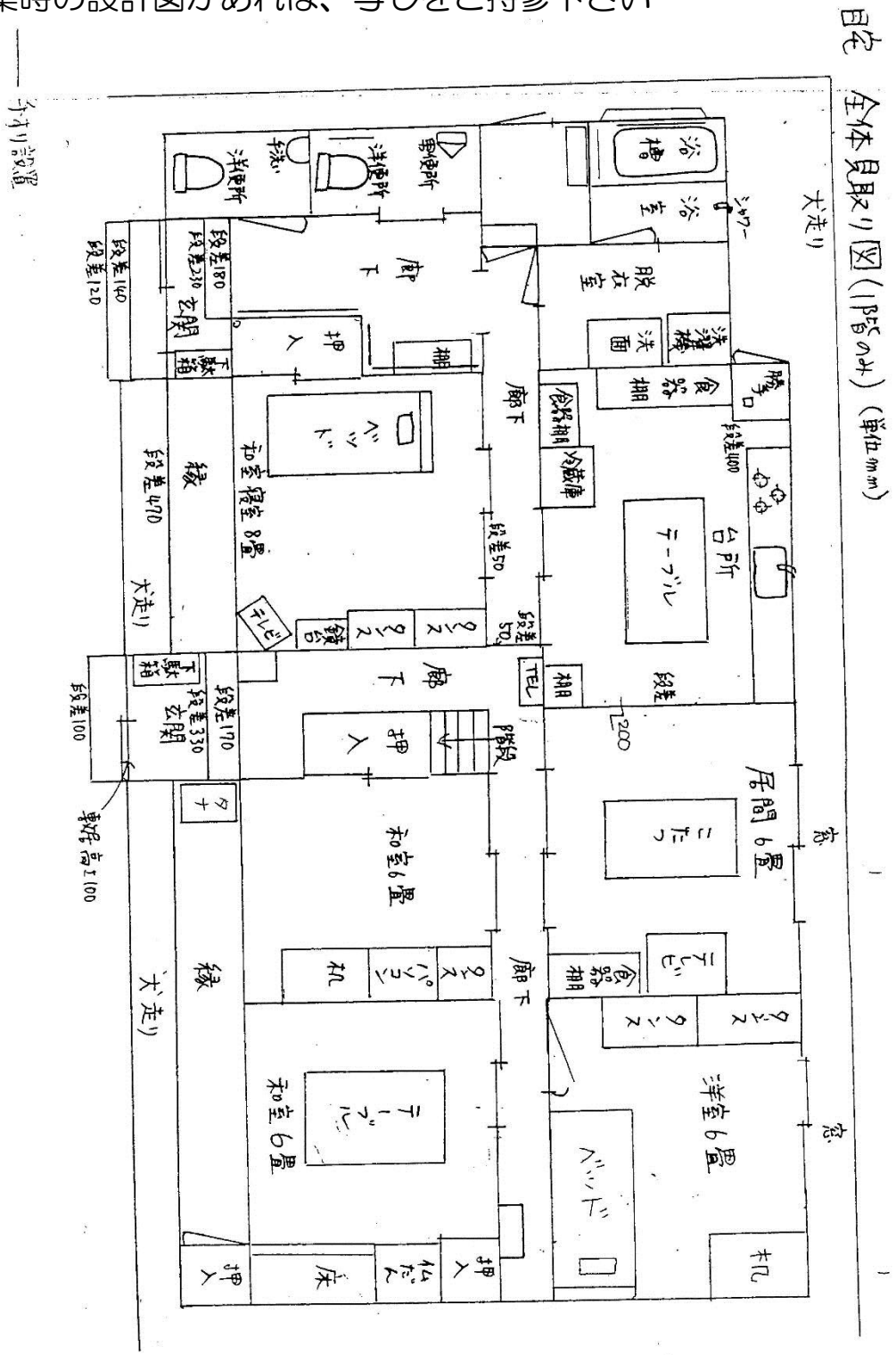


・階段



【見取り図】
①玄関上がりかまちや敷居段などの高さ、家具の配置などできる範囲で詳しくご記入下さい
②建築時の設計図があれば、写しをご持参下さい

例）



【注意】持参していただいた写真と見取り図は退院時返却いたします。
（上記の目的以外には使用しません）

医師の診察について

病棟での総合回診は

毎週水曜日９時～　病棟担当医師（谷医師）
毎週水曜日午後～　整形外科医師
毎週木曜日午後～　内科・脳神経外科医師
隔週金曜日午後～　豊岡病院脳神経外科医師

準備していただくもの

◎身の回り用品

着替え	普段着、寝間着（パジャマ）、下着 ＊病衣の貸し出し（１日６０円）が可能 タオル・バスタオル（多めにご用意下さい）
整容品	割れないコップ・歯磨きセット・くし・鏡・電気カミソリ 化粧品・爪切り・シャンプー・ボディーソープ ＊口腔ケア用具が必要な方は、職員が説明致します
食事用品	箸・スプーン・急須や水筒（割れにくい物：ペットボトルは不適） ＊持ち運び用の <u>手提げ袋</u> 縦横20cm程度の大きさ
その他	履き慣れた靴（基本的にスリッパは履きません） 時計・趣味のもの（編み物・塗り絵・折り紙・本・パソコン 等） ＊趣味のものは、机上で行えるものをお願いします

◎排泄関連用品

オムツ類	リハビリパンツ・尿とりパット・テープ式紙オムツ・おしり拭き 等 <u>＊必要な方は種類を職員が説明します</u> 手拭き用ウェットティッシュ（ポータブルトイレを使用される方）
シーツ	防水シーツ（寝具汚染の可能性がある方はご用意下さい）
洗濯物入れ	ふた付のバケツ（着替え一式入る程度の大きさの物） ＊ゴミ箱は、不要です

◎訓練用品

歩行器具	入院前使用されていた杖・老人車・装具など ＊新しく購入を検討される場合、まず担当のスタッフにご相談下さい
万歩計	機能が簡単なものをご用意下さい ＊歩数だけが分かる物で結構です・当院売店でも販売しております
三角布	手に麻痺のある方（風呂敷やスカーフでも代用できます）

●全ての持ち物に名前を記入して下さい。

●貴重品は床頭台の引き出し内の保管庫を利用し、鍵は常に身につけて下さい　（金銭のお預かりは致しておりませんのでご了承下さい）

＊　ご不明な点があれば、遠慮なく職員にお尋ね下さい。

〒667-8555　兵庫県養父市八鹿町八鹿1878-1　公立八鹿病院
【TEL】079-662-5555（代）【FAX】079-662-3134（代）